

# 訪問看護ステーション便り

No.56

訪問看護ステーション (TEL32 - 2416)



5月号のAさんの質問「訪問看護のことがよく分からないので教えて欲しい」にお応えします。

## 質問 看護師なのに「介護」をしているの？

答え 場所が「自宅（在宅）」というだけで、病院の看護師と同じ『看護』をしています。

主治医の指示を受け、病院と同じような医療処置や自宅で最期を迎えたいと言う希望に沿った看護も行います。

## Aさんのご主人（脳梗塞で入院中、要介護3）の場合

病気になる前は身の回りの事は全て自分で出来ていましたが、退院時はトイレまでの移動や入浴にお手伝いが必要になりそうです。自宅で安心安全に生活ができるように、以下の順に訪問看護を行っていきます。

### 入院中

ご主人・Aさんらしく暮らせるように、退院後に関わるサービスの人たちと一緒に、退院調整会議に参加します。



### 初回訪問看護

退院後に自宅に訪問し、困った事がないかを確認。あれば相談や助言、関係機関と連携します。また、次回からの訪問看護の内容、頻度を確認します。

### 定期的な訪問看護

普段の様子を把握するため、落ちついていても定期的に訪問します。受診と受診の間に訪問して、体調の変化を早期発見対応します。体調に合わせて追加訪問、緊急対応をします。

## Aさんのご主人に訪問看護で実際に行えることを具体的に紹介します。

### ①健康状態・症状の観察

- ・体温、脈拍、血圧、呼吸などの測定
- ・心身の健康チェック（生活リズム・心配ごとなど）
- ・緊急時の対応

### ③介護支援・相談

- ・介護方法の提案
- ・不安やストレスの相談
- ・介護用品の相談

### ⑤主治医やサービス事業者との連絡・調整

- ・療養生活を支えるため、主治医やサービス事業者と連絡をとります。

### ②医師の指示による処置

- ・医療機器やカテーテルなどの管理
- ・床ずれの予防や処置、そのほかの創部の処置
- ・点滴や胃ろう管理

### ④療養生活のお世話

- ・清潔のケア：清拭、入浴介助、口腔ケアなど
- ・栄養や食事のケア：体調に合わせた食事の提案や摂取方法の相談、食事介助
- ・排泄のケア：トイレへの移動方法、便通の管理
- ・皮膚トラブルの対応



## その他にも以下のような看護も行います。

### ①終末期の看護

- ・医師との連携による痛みや症状のコントロール、安楽なケア、緊急時の対応
- ・療養環境の整備・助言
- ・本人・家族の精神的支援
- ・看取り体制の相談・助言

### ②小児・障がいの看護

- ・医療機器装着時の看護
- ・育児に関する悩み相談
- ・介護者支援
- ・介護者外出時の看護

### ③認知症・精神疾患看護

- ・心身の状態、服薬、コミュニケーションの援助
- ・生活リズムの調整・助言